

株主メモ

【事業年度】

毎年11月1日から翌年10月31日まで

【定時株主総会】

毎年1月

【基準日】

毎年10月31日

【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

【株主名簿管理人事務取扱場所】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【郵便物の送付先または連絡先】

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社
証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031

※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。

※特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関するお手続きのホームページURL】

<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

【公告方法】

電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。

IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<http://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

株主様ご優待のお知らせ

毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様にご優待券をお送りいたします。今回お送りする株主優待券及びハウステンボスご入場割引券は来年(平成29年)の7月31日までご利用になれます。

【株主優待券】

当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券です。



100株以上 … 2枚
500株以上 … 4枚
1,000株以上 … 6枚

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。

【ハウステンボスご入場割引券】

ハウステンボス株式会社が運営する、ハウステンボス(長崎県佐世保市)にて、ご利用いただける入場割引券です。



100株以上 … 1枚
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ハウステンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ハウステンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。

【ラグーナテンボスご入場割引券】

株式会社ラグーナテンボスが運営する、ラグーナテンボス(愛知県蒲郡市)にて、ご利用いただける入場割引券です。



100株以上 … 1枚
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ラグーナテンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ラグーナテンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。



株主・投資家の皆様へ

H.I.S. Interim Business Report

第36期(平成27年11月1日から平成28年4月30日まで)

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様にH.I.S. Interim Business Report(平成27年11月1日から平成28年4月30日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、グローバルな規模での情勢不安や為替変動、新興国の景気下振れリスクなど混沌とする世界経済の中、国内景気は緩やかな回復傾向にあるものの、個人消費マインドに足踏みがみられました。旅行市場においては、海外旅行では欧州で発生した地政学的リスクの影響が依然として残りましたが、円高基調や燃油サーチャージが6年半ぶりにゼロとなるなどの市場環境の変化から、1～4月の日本人出国者数が前期を上回り4期ぶりに回復傾向で推移いたしました。国内旅行では、雪不足の影響によりスキーバス旅行の需要低下もみられましたが、継続する国内志向の高

まりにより全体として順調に推移しました。訪日外国人旅行では、政府が訪日旅行者を2020年に4,000万人とする新たな目標を発表し、平成28年3月には月間200万人を超え過去最高を更新するなど、引き続き好調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは、お客様への「安全」と「安心」を第一に考え、国内外のネットワークを活用した情報やサービスの提供、品質のさらなる向上に取り組みました。また、新たな価値創造へ向けた様々な挑戦を続け、未来を見据えたスピーディな事業展開に努めてまいりました。主な取り組みにつきましては、本書3ページ以降にTopicsとして記載させていただいているとおりでございます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は2,559億74百万円(前年同期比98.2%)、営業利益は85億33百万円(同85.1%)、経常利益は、為替変動の影響により44億93百万円

(同39.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、クルーズ船の減損損失を計上し、99百万円(同1.9%)となりました。

欧州におけるテロの影響や中国経済の成長鈍化による新興国の景気下振れリスクなど、世界経済を取り巻く環境は引き続き不透明であると思われま。旅行業界においては、昨今の燃油サーチャージ減額や円高基調が追い風となり、今夏の海外旅行需要は堅調に推移すると予想されます。一方で、急速な進化を遂げるオンライントラベルエージェントや新たな旅行関連サービスの増加による競争の激化など、市場の変化を見据えた対応がより必要になると予想されます。

このような環境の中、当社グループにおける相乗効果を最大限に発揮すべく、全世界共通のサービスプラットフォームの構築や垂直統合ビジネスの推進、市場のニーズに合わせた新たなビジネスの創出など、お客様目線の商品・サービスの提供に注力するとともに、生産性や効率

性をより意識した展開も進め、業績のさらなる向上を図ってまいります。

ハウステンボスでは、今夏新たに6つ目の王国として「ロボットの王国」がオープンし、日本初となる最新のロボットによるエンターテインメントをご来場のお客様に提供させていただくとともに、実際にロボットに触れていただくという実証実験を通じてノウハウを蓄積し、サービス産業におけるロボットの進化に寄与していくなど、今後も様々な分野における新たなチャレンジも実施してまいります。

株主の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、今後とも当社グループをご愛顧賜り、一層のご支援とご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長 平林 朗



高付加価値商品の拡充と専門性強化



▲「ヴェルサイユ宮殿」と「ルーヴル美術館」の貸切企画

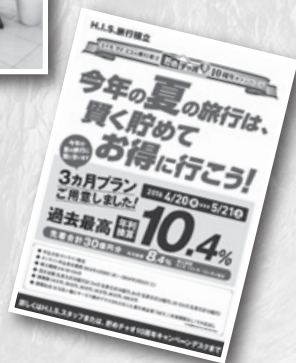


▲ フランスリカバリーキャンペーン

▲ 新聞広告



▲ 沖縄専門店 新宿



▶ 旅行積立「貯めチャオ」10周年キャンペーン

フランスの2大人気施設「ヴェルサイユ宮殿」と「ルーヴル美術館」の貸切鑑賞プランやオーストラリアの島貸切企画など、高付加価値商品の拡充に努めたほか、新しい旅行先の提案としてキューバのプロモーション展開や、フランス観光開発機構や各航空会社とのパリ応援キャンペーンを行い、旅行需要の喚起を図りました。他にも、夏に向けて旅行積立商品を過去最高金利で発表し、大きな反響をいただきました。店舗展開ではバリ島専門店や沖縄専門店など、専門性の高い商品やサービスの提供を一層強化しました。また、IT関連の取り組みでは、検索機能の強化やパッケージツアー表示の改修など、引き続きスマートフォンを利用したサービスの向上に努めてまいりました。

法人団体事業



◀ たびレジ登録代行サービス



▲ 訪日団体旅行

企業様向けや団体旅行の取り組みでは、外務省が提供する渡航者登録システム「たびレジ」への自動登録など危機管理に対応した業務渡航サービスの拡張に努めたほか、国内旅行団体案件の受注拡大に加え、訪日旅行における団体案件の受注も増加し、順調に推移しました。

国内旅行



▲ 国内最大規模のアクティビティ予約サイト「アクティビティジャパン」



▲ 7,000プラン以上の充実ラインナップ

オプションツアーの拡充を図るなど引き続き重点地域の沖縄を強化し、順調に推移しました。また、宿泊比較サイトの出稿を拡大したほか、国内最大規模のアクティビティ予約サイト運営会社「株式会社アクティビティジャパン」をグループ化し体験型プランの充実も図りました。

訪日旅行事業



◀ 沖縄ツーリスト
▼ インフォメーションセンター



◀ 神奈川県との
インバウンド観光推進事業

海外における旅行事業



▲ リオデジャネイロ支店



ハバナ支店▶

ハワイを中心に展開する「LeaLea」ブランドのトロリーアプリをグアムとバリ島でも展開しました。東南アジアにおいては、各地での旅行博への積極的な出展に加え、多店舗展開を促進しました。その他、日本の旅行会社として初出店となるリオデジャネイロ（ブラジル）やハバナ（キューバ）にツアーデスクを開設するなどグローバルに拠点を拡充しました。

ハウステンボス



▲ 700品種の「チューリップ祭」

1,300万球のイルミネーション
「光の王国」▶



「変なホテル」フロント▶



▲ 「変なホテル」2期棟



ハウステンボスでは、世界最大級1,300万球のイルミネーション「光の王国」や国内最多700品種を誇る「チューリップ祭」や仮面舞踏会大カーニバル、ホログラムシアターのリニューアル等を行いました。チューリップ祭では、高さ4mのチューリップ富士が初登場し、夜まで楽しめる有機ELチューリップなどと合わせ、よりスケールアップしたイベントを実施しました。そして、ロボットをはじめとする最先端技術を導入した「変なホテル」では、2期棟のオープンにより、世界最高水準の生産性のさらなる向上を実現いたしました。「花の王国」「光の王国」「音楽とショーの王国」「ゲームの王国」「健康と美の王国」の5つのイベントを中心に体験価値の向上に努めました。また、電力小売事業への参入に向け供給および販売体制の整備を推進してまいりました。

ラグーナテンボス



◀ フラワーラグーン

ハウステンボス歌劇団 ▶
「チーム心(ハート)」



◀ アートシアター

ラグーナテンボスでは、新たに「フラワーラグーン」をオープンし、昼も夜も楽しめる新しいエリアの拡張により、幅広いお客様層を対象に、集客に努めてまいりました。また、劇場「アートシアター」を新設し、ハウステンボス歌劇団による公演を開始いたしました。

ホテル事業



▲ ウォーターマークホテル長崎



▶ グラムリーフ

ウォーターマークホテル長崎の訪日客増加による稼働率の上昇と、グラムリーフ&オリーブスパリゾートのホテル自体の付加価値向上による客室単価の改善が奏功しました。また、その他各ホテルにおいても、お客様満足度や収益性向上に努めた結果、売上高・営業利益ともに過去最高となりました。

運輸事業



▲ アジアアトランティックエアラインズ



▲ バンコク-千歳(札幌)線 広告

国際チャーター便専門会社のASIA ATLANTIC AIRLINES CO.,LTD.はマカオ(中国)-パラオ線やバンコク(タイ)-千歳(札幌)線など、チャーター便の特性を最大限に活かし、各国の需要に合わせた展開を行いました。

引き続き安全運行、お客様満足度の向上に努めてまいります。

九州産交グループ



▲ 桜町再開発
イベントスペースイメージ



▲ 産交バス



◀ ICカード利用の
サービス開始

九州産交グループでは、バス事業において、全国相互利用ICカードでの利用サービスを開始するなど、お客様の利便性向上に努めてまいりました。また、熊本県桜町再開発事業が、平成30年秋の竣工に向け、本格スタートいたしました。

熊本地震では、安全性が確認できた路線より順次運行を再開しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成28年4月30日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	238,783	流動負債	123,034
現金及び預金	159,093	営業未払金	20,700
売掛金	19,026	旅行前受金	49,897
営業未収入金	8,296	その他	52,435
旅行前払金	21,792	固定負債	110,641
その他	30,574	社債	20,000
		転換社債型新株予約権付社債	20,133
		その他	70,508
		負債合計	233,675
固定資産	98,800	純資産の部	
有形固定資産	62,082	株主資本	85,727
無形固定資産	5,270	資本金	11,000
投資その他の資産	31,447	資本剰余金	3,665
		利益剰余金	80,820
		自己株式	△9,758
		その他の包括利益累計額	3,170
繰延資産	215	非支配株主持分	15,225
資産合計	337,798	純資産合計	104,122
		負債純資産合計	337,798

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成27年11月1日から平成28年4月30日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△650
現金及び現金同等物の増加額	19,212
現金及び現金同等物の期首残高	113,330
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	81
現金及び現金同等物の四半期末残高	132,624

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成27年11月1日から平成28年4月30日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	255,974
売上原価	202,280
売上総利益	53,693
販売費及び一般管理費	45,160
営業利益	8,533
営業外収益	1,634
営業外費用	5,675
経常利益	4,493
特別損失	3,514
税金等調整前四半期純利益	978
法人税等	155
四半期純利益	822
非支配株主に帰属する四半期純利益	723
親会社株主に帰属する四半期純利益	99

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成28年4月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	88,551,450 株
発行済株式の総数	68,522,936 株
株主数	15,263 名

大株主の状況(上位10名)

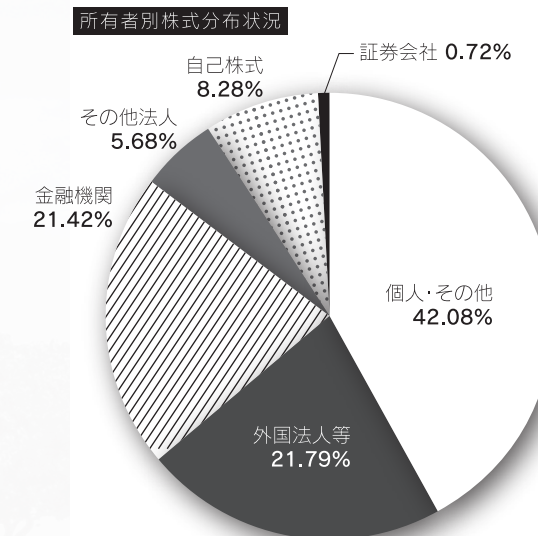
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	19,286	30.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,812	7.65
有限会社 秀インター	3,381	5.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,568	4.08
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,180	1.87
ジェビ-モガンバンク ルカブルグ アイ 380578	1,140	1.81
全国共済農業協同組合連合会	1,139	1.81
行方 一正	1,021	1.62
澤田 まゆみ	950	1.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	886	1.41

(注)当社は自己株式(5,673,816株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社概要

商号	株式会社 エイチ・アイ・エス
英文社名	H.I.S.Co.,Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	110億円
従業員数(連結)	10,939名(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 298拠点 / 海外 64カ国 134都市 217拠点
ホームページ	http://www.his-j.com

株式分布状況



会社役員

代表取締役会長	澤田 秀雄
代表取締役社長	平林 朗
専務取締役	楠原 成基
常務取締役	中森 達也
取締役	中谷 茂
取締役	坂口 克彦
取締役	山野 邊 淳
取締役	織田 正幸
取締役	高木 潔
取締役相談役	行方 一正
取締役監査等委員	平田 雅彦
取締役監査等委員	梅田 常和
取締役監査等委員	関田 園子

(注)取締役監査等委員 平田雅彦氏、梅田常和氏は、独立社外取締役であります。